

がんと歩む世界七大陸最高峰

医療法人 Shindo 旭川リハビリテーション病院 理事 麻紀子

2015 年、南米大陸最高峰アコンカグアへの登頂の誘いと同時期に乳がんが見つかりました。そこから七大陸最高峰の挑戦とがん治療を同時に続け、2023 年のエヴェレスト登頂をもって七大陸最高峰に全て登頂しました。その経験と、そこで得た知見を、エヴェレスト登頂での体験を中心にお話いたします。

1) 治療を続けながらセブンサミッターとなるまで

手術を延期して臨んだ初めての南米での高所登山は、肺水腫により敗退しました。帰国して手術を受け、その後、放射線治療とホルモン治療による副作用に悩まされるとは知らずに、病室からアフリカでの登山の手配を始めました。退院し、キリマンジャロ登頂成功後、リンパ浮腫に罹りましたが、南極のヴィンソン・マシフと北米のデナリに続けて登りました。次に卵巣嚢腫が見つかり、破裂の可能性を指摘されながらもロシアのエルブルスに挑戦しました。ホルモン治療の副作用は全身的に現れ、そのつらさから何度もやめようと考えながらも治療を続け、2019 年のエヴェレスト敗退からコロナウィルスの世界的流行が落ち着いた 2023 年の再挑戦で登頂成功を果たし、7 大陸最高峰全ての山頂に立つことができました。



2) 両方続けた理由とは

治療の不調は、高所登山に役立つという発見もありました。治療に専念したほうがいいのかという声もありましたが、つらい治療には、もったときつい登山をすることで、つらい状態を忘れ、むしろ日々のありがたさに目を向けられるようになりました。

これは私が体験した「がん治療」と「高所登山」の組み合わせに限ったことではないと考えています。世の中には多くの苦難や困難があります。そうしたことに直面した時は、何か他の大きなことに挑むきっかけにもなる。そう捉えることが、多くの人の励みになるのではないかと考えています。



2015年

高所登山のお誘い

南米へ

肺水腫で敗退

アフリカへ

登頂成功

南極へ

登頂成功

再度南米へ

肺水腫で敗退

アラスカへ

登頂成功

オーストラリア地域へ

登頂成功

南米へ

登頂成功

ロシアへ

登頂成功

オーストラリアへ

登頂成功

エヴェレスト（チベット）へ

悪天候で敗退

エヴェレスト（ネパール）へ

登頂成功

パンデミック宣言

2023年

検査と診察

剥離骨折

帰国後・手術

手術を延期

卵巣嚢腫

皮下注射は山の予定に合わせる

病氣治療と山年表

力仕事・重たい物の運搬禁止

関節痛

骨粗鬆症

エベレスト 高度順応とベース キャンプまでのルート



オンラインストア

がん と エベレスト

乳がんと闘いながら世界七大陸最高峰を制覇する

麻紀子

世界文化社

書籍の販売サイトおよび
ブログ

ピンクリボンむすび

